

相談内容	日時	場所	問い合わせ
行政相談 行政相談員が、行政などへの苦情や意見、要望などの相談を受けます。	8/19(水) 午前10時～正午 9/9(水) 午前10時～正午	アストくにさき 武蔵中央公民館 みんなかん 安岐総合支所	大分行政監視行政相談センター ☎097-532-3715 インターネットによる相談も利用できます。 
行政書士会無料相談 ※要予約・1組30分以内 遺言・相続、在留資格、法人設立、各種許可申請など、お気軽にご相談ください。	8/20(木) 午後1時～3時 8/19(水) 午後1時30分～4時30分	安岐中央公民館 ホルトホール大分(大分市)	大分県行政書士会杵築支部 ☎0977-75-8443 大分県行政書士会事務局 ☎097-537-7089
民事・家事手続き案内 ※前週金曜までに要予約 裁判所の利用や申し立て手続きなどについて説明・案内します。	9/9(水) 午前9時30分～午後3時30分	アストくにさき	大分地方・家庭裁判所杵築支部 ☎0978-62-2052
こころの相談 ※3日前までに要予約 こころの悩みなど、つらい気持ちを伝えてください。	8/13(木) 正午～午後1時 9/10(木) 正午～午後1時	東部保健所 国東保健部	東部保健所 国東保健部 ☎72-1127
障がい者福祉相談 障がい者のための総合相談窓口です。ご家族からの相談も可能です。	8/18(火) 午後1時30分～3時 8/25(火) 午後1時30分～3時	隣保館 安岐総合支所	福祉課 福祉・障がい者支援係 ☎72-5164
終活相談会 ※要予約 認知症や障がいにより将来に不安を感じている方や家族などへ、終活に関する相談や支援制度をご案内します。	8/24(月) 午後2時～4時	アストくにさき 小会議室	国東市成年後見センター ほっとかない ☎68-1976
大分県よろず支援拠点 ※要予約 専門家が販路開拓や資金繰りなど、幅広い経営相談に応じます。	8/26(水) 午前10時～午後4時	市役所本庁舎	国東市商工会 ☎72-2000
消費生活出張相談 ※要予約 消費生活に関するトラブルについて、助言や情報提供を行います。	8/17(月) 午前10時～正午	安岐総合支所	国東市消費生活センター(観光・地域産業創造課内) ☎72-5168 ※窓口でも随時相談をお受けしています。
職業相談ふるさとハローワーク 求人情報の検索や専門員による相談などをご利用できます。詳細は市ホームページをご覧ください。	平日 午前9時30分～午後5時	国東地域 ふるさとハローワーク	国東地域ふるさとハローワーク ☎72-0952 市ホームページはこちら 

 休日当番医	午前8時30分～午後5時	※受診する前に必ず休日当番医へ電話をしてください。
8/ 2 富来K.クリニック	国東町富来浦 73-3010	8/ 23 はるかぜ醫院 国見町大熊毛 89-9414
8/ 9 メーブル尽クリニック	安岐町下原 67-2800	8/ 30 定村内科医院 安岐町塩屋 67-2127
8/11 堀田医院	国見町伊美 82-0490	9/ 6 国見病院 国見町伊美 82-1251
8/16 朝倉内科医院	安岐町中園 67-2012	9/13 あおぞら病院 国東町小原 72-0455

※国東市民病院(☎67-1211)、あおぞら病院(☎72-0455)は救急病院です。

くにさき わくわく コラム

増やそう!知人口～多世代交流の地域食堂

国東市長 松井 督治

今年度の市のまちづくりの重点テーマの一つは、人口が減少する中でも安全・安心な地域運営ができるように、「地域の新しい支え合いの仕組み(地域運営組織)」をつくることです。市では、平成28年度から各地域に「支え合い活動の組織」ができ、カフェやミニデイ、「ちょいかせ」など、県内では先進的な取り組みを進めてきています。しかし、令和6年度から令和7年度にかけて実施した地域運営に関するアンケート調査の結果から、高齢化や担い手不足などで10年後の継続が困難になることが予想されるため、現在の行政区は残したまま地区公民館単位で連携する地域運営組織の立ち上げ準備をしているところです。

そんな中、7月18日に国東町の深江・塩屋・堅来の3区合同で「地域食堂あいあい」がオープンしました。「地域食堂」とは「子ども食堂」から発展し、子どもから子育て世代、高齢者までの多世代が集まって、食事やレクリエーションをしたり、語り合う場のことで、現在、全国各地で広がりを見せています。「地域食堂あいあい」は「楽しくおしゃべりできる新しい居場所」として、みんなを笑顔にすることを目指しています。

人口が少なくなる中で地域のコミュニティを維持し

ていくためには、これまで地域の活動に参加されていなかった住民の皆さんにも参加してもらうことが必要で、そのきっかけとなるのが地域食堂です。また、地域食堂は単に食事を提供する場所というだけでなく、子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる場所であり、地域での知り合い「知人口」を増やす場所でもあります。ここから生まれる交流が新しいつながりを生み、地域の支え合いや安心・安全につながっていけば、日々の暮らしでの幸福感も上がっていくのではないかと思います。多世代をつなげていく「地域食堂」の取り組みはまだ始まったばかりですが、将来、国東市内に広がっていくことを期待しています。



シリーズ

くにさき学

～民俗・祭り編～

国東の食事

昔、米が貴重だった国東では、普段の食事は麦飯が多く食べられていました。祭りや正月、人生の節目など重要な場面では「もち」が食べられてきました。あんこの入った甘いもち、国東の人々の楽しみでした。皆さんはもちが好きですか？

くにさき学クイズ

Aさんは、国東のおばあさんの家に遊びに来たときに、おばあさんからお使いを頼まれました。「白もちを3つ買うてきてほしいんや。ちょっといくらやったか覚えんけど、1000円あげるから、残りのお金で買えるだけふつもちを買うてきて」
和菓子屋さんに行ったところ、値段は以下ようになっていました。
丸もち：100円 きなこもち：160円 よもぎもち：120円 和菓子屋渾身のもち：350円
さて、お釣りはいくらになるでしょうか？

《選択肢》 0円 100円 60円

問 文化財課 文化財係

☎72-2677

歴史講座「江戸時代の絵図に関する話(仮)」を開講します。
日時:8月22日(土)
午後1時30分～午後3時
※別途入館料が必要です

ヒントはコチラ

答えは次号で発表します。お楽しみに！

もっとくにさき！

国東市の公式
ソーシャルメディア

＼LINE／

＼Facebook／

＼X (旧Twitter)／

＼Instagram／

＼YouTube／